



テラたま
(イメージキャラクター)

～教育相談から～

日本語能力の測定について

本年度も当センターには 500 件を超える教育相談が寄せられました。外国人児童生徒等の受入れや進路相談、日本語指導等の内容がありましたが、今回は、問合せが多かった日本語指導のうち、日本語能力の測定について取り上げます。

日本語指導が必要な児童生徒への対応については、子どもの自己実現を図るためにも日本語能力に応じた指導や支援が重要であるといわれています。

しかし、日本語指導が必要にもかかわらず、必要性を認識されていないので、支援の対象になっていない場合があります。また、日本語指導が受けられていても、日本語能力に応じた適切な支援が行われておらず、十分な学力形成に結びついていないという課題もあります。

みなさんの学校では、日本語指導が必要な児童生徒の日本語能力をどのように測定しておられるでしょうか。

<外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント>

アセスメントの一つに文部科学省が作成した「外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント」(略称 DLA (Dialogic Language Assessment)) があります。対象児童生徒の複数のことばの力(学習言語能力を含む)をとらえることをねらいとして作成された測定方法で、読む・書く・聴く・話す・(語彙力)の言語技能で構成され、総合的・多面的に言語能力を判定します。対話を進めながらアセスメントを行いますので、アセスメントの過程そのものが学びの機会にもなるという特徴があります。日本語能力を1～6のステージで判定し、在籍学級参加や支援の段階がわかるので、効果的な指導に結び付けることができます。

日本語の力をどのように把握するかお悩みのときには、DLA を試してみられることをお勧めします。

詳細は、[文部科学省 DLA](#) で検索してご覧ください。また、県教育委員会では、令和2年度も DLA に関する研修会を実施予定です。ぜひご参加ください。

JSL評価参照枠<全体>

ステージ	学齢期の子どもの在籍学級参加との関係	支援の段階
6	教科内容に関連したトピックについて理解し、積極的に授業に参加できる	支援付き 自律学習 段階
5	教科内容に関連したトピックについて理解し、授業にある程度の支援を得て参加できる	
4	日常的なトピックについて理解し、学級活動にある程度参加できる	個別学習 支援段階
3	支援を得て、日常的なトピックについて理解し、学級活動にも部分的にある程度参加できる	
2	支援を得て、学校生活に必要な日本語の習得が進む	初期支援 段階
1	学校生活に必要な日本語の習得がはじまる	

<外国人児童生徒等のための受入れハンドブックを作成しました>

受入れ当初の配慮事項や支援体制づくり、DLA の活用を含んだ日本語指導・学習支援の実践事例等も掲載しています。指導場面で困ったときなどに立ち返ることができる一冊として活用してください。資料は、子ども多文化共生センターHP からダウンロードし、自由にご覧いただけます。



★エルサルバドル国定算数・数学教材をご活用ください★

スペイン語を母語とする児童生徒用に、中米・エルサルバドルの算数・数学教科書が使用できるようになりました!

本教材は、JICA の技術協力プロジェクト「初中等教育算数数学指導力向上プロジェクト(2015-2019)」により作成され、教材冊子のみならず、**オンラインでも教材を利用できます**。スペイン語を母語とする児童生徒の補習や家庭学習における補助教材、保護者への学習進度の説明等にご活用ください。

「JICA 地球ひろば」→「プログラム紹介」→「国際理解・開発教育教材の貸出し/提供」で**教材データや目次(和訳)のダウンロード**ができる他、**冊子の貸出し**も行われています。
(<https://www.jica.go.jp/hiroba/program/practice/education/index.html>)



< エルサルバドル教材の種類 >

○小学校算数教科書：1年生～6年生

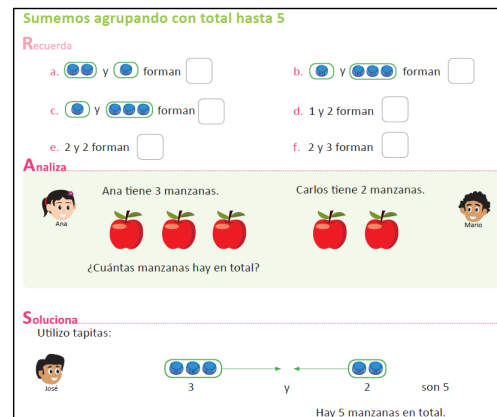
- 教科書
- 教員用指導書
- 練習帳(3-6年生のみ)

○中学校数学教材：7年生～9年生

- 教科書
- 教員用指導書
- 練習帳

○高等学校数学教材：中等1年生～2年生

- 教科書
- 教員用指導提案書



(小学1年生教科書から抜粋)

図書・民族楽器等の貸出資料が充実しました



日本語指導、多文化共生に関する図書や、馬頭琴、セタール等の民族楽器を充実させました。学校や地域で行う多文化共生の取組にご活用ください。図書や民族楽器については、センターホームページの「資料貸出」で詳細をご覧ください。また、センターの内装をリニューアルしました。ぜひお立ち寄りください。

子ども多文化共生センター 芦屋市新浜町1-2 県立国際高等学校内

TEL : 0797-35-4537 FAX : 0797-35-4538 E-mail : mc-center@hyogo-c.ed.jp

ホームページから様々な情報を発信しています。 <http://www.hyogo-c.ed.jp/~mc-center/>

外国人児童生徒等の支援、子ども多文化共生教育に関わることなどについて、お気軽にご相談ください。